

厚労省、日本医師会等から

第38回産業保健活動推進全国会議が開催

昨年10月13日、日本医師会館大講堂にて、第38回産業保健活動推進全国会議が開催された。

会議では、活動事例報告として、茨城産業保健総合支援センターと、酒田地域産業保健センター（山形県）の発表があり、酒田地産保からは、本誌83号でも紹介した産業医・保健師・コーディネーターが一体となって取り組む健康相談や面接指導の活動について報告された。その後、日本医師会の松本吉郎常任理事に

よる司会の下、厚労省の武田康久労働衛生課長による講演「最近の労働衛生行政の動向について」と、「医療機関における産業保健」をテーマにしたシンポジウムが行われ、医療機関におけるメンタルヘルス対策や勤務医の過重労働、感染症対策等について話し合われた。

最後は、参加者から質問や要望が寄せられる「協議」にてストレスチェック制度に関する対応等について活発な議論が交わされ、会議は幕を閉じた。

厚労省から

初めての「過労死等防止対策白書」を公表

厚労省は昨年10月7日、平成26年に成立・施行された過労死等防止対策推進法に基づき、「平成27年度我が国における過労死等の概要及び政府が過労死等の防止のために講じた施策の状況」：過労死等防止対策白書（以下、白書）を閣議決定し、初めて公表した。

白書には、過労死等防止対策推進法が制定に至るまでの経緯のほか、過労死等の実態

を解明するための調査研究（労働者の労働時間だけでなく、生活時間の状況等の労働・社会面からみた調査や、労災認定事案のデータベース構築など）など、平成27年度に行われた過労死等防止対策の取組みが掲載されている。また、労働安全衛生総合研究所などの過労死等防止対策に取り組む民間団体の活動もコラム形式で紹介している。

労働者健康安全機構から

「復職（両立支援）コーディネーター応用研修」を開催

がん、糖尿病、脳卒中（リハ）、メンタルヘルスの疾病4分野を対象とした治療就労両立支援において、医療と職域を橋渡しするコーディネーターの養成を目的として、（独）労働者健康安全機

構は平成28年11月28日に総合研修センター（神奈川県川崎市）で「復職（両立支援）コーディネーター応用研修」を開催した。

本研修は、昨年5・6月に開催された基礎研修の応用編であ

風邪や感染症を予防しよう

